

平成 24 年 8 月 29 日

各 位

マ ネ ッ ク ス 証 券 株 式 会 社  
代 表 取 締 役 社 長 C E O 松 本 大

## 「MONEX 個人投資家サーベイ 2012 年 8 月調査」

### 信用取引規制の緩和による売買活性化に期待

マネックス証券株式会社（以下「マネックス証券」）は、2009 年 10 月より、マネックス証券に口座を保有する個人投資家を対象に、相場環境に対する意識調査を月次で実施しております。

このたび、2012 年 8 月 24 日～27 日にインターネットを通じて実施したアンケート調査 1,038 件の回答結果を報告書にまとめました。マネックス証券チーフ・ストラテジスト広木 隆の総括と併せてご活用ください。

#### **【調査結果要約】**

#### **(1) 日本株、米国株 DI<sup>(注)</sup> は 2 ヶ月ぶりに上昇。中国は低下傾向続く**

【日本株 DI】(2012 年 7 月) 10 ポイント → (8 月) 20 ポイント (前月比 +10 ポイント)

【米国株 DI】(2012 年 7 月) 24 ポイント → (8 月) 37 ポイント (前月比 +13 ポイント)

【中国株 DI】(2012 年 7 月) -27 ポイント → (8 月) -31 ポイント (前月比 -4 ポイント)

日本株、米国株 DI は 2 ヶ月ぶりに上昇しました。一方、中国株 DI は低下傾向が続き、調査開始以来最低の水準まで落ち込みました。

(注)「上昇すると思う」と回答した%から「下落すると思う」と回答した%を引いたポイント。

#### **(2) 自動車、機械がそれぞれ 2 つ順位を上げるなか鉄鋼が電力・ガスに代わって最下位に**

「自動車」および「機械」がそれぞれ 2 つ順位をあげるなか「ハイテク」、「不動産」、「鉄鋼」などが順位を下げました。特に「鉄鋼」は 11 ヶ月ぶりに最下位から浮上した「電力・ガス」に代わって最下位となりました。

#### **(3) 今後 3 ヶ月程度のドル円相場について円安を予想する割合が増加**

円安を予想する割合が 9 ポイント増加し、ほぼ同じだけ円高予想が後退しました。比率では再び円安派が円高派を上回りました。

#### **(4) 個人投資家の関心は「国内要因」へ**

投資判断にあたり個人投資家の注目するトピックとして、国内の「景気・企業業績」および「政治・外交」を挙げた回答者が多く、次いで「為替」および米 FRB の「金融政策」が並びました。

**(5) 信用取引の規制緩和について過半数が売買の活性化に効果があると回答**

各取引所が実施する見込みと報じられている信用取引の規制緩和が、株式売買の活性化に効果があると予想する回答者が過半数に達しました。

調査結果の詳細は、添付の別紙レポートをご参照ください。

**【お問合せ先】**

マネックス証券株式会社  
マーケティング部 PR 担当 町田 電話 03-4323-3800